

平成21年度 第4回 (7月) 理事会議事録

- 日 時 平成21年7月9日(木) 午後6時30分～8時15分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、暹天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、
荒木、田畑、出野、山田、宮野、酒井、栗本、
山西、小宮山、東野(岩崎)
- 欠席者 高橋、井戸田、村上
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (6月分)

- 6月1日 中央支部会
田畑、栗本
- 2日 府民健康フォーラム打ち合わせ会議
今井
- 2日 マタニティカーニバル2009
打ち合わせ会議
栗本
- 5日 職域部会
暹天、井戸田、田畑、酒井、小宮山、村上
- 10日 近臨技会長会議
今井
- 11日 理事会
今井、暹天、竹浦、吉本、高田、清水、
荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、山田、
宮野、酒井、栗本、山西、小宮山、東野、
村上
- 15日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 16日 渉外部会
清水、大垣
- 17日 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース
研修員選考会
今井
- 17日 総務・会計部会
吉本、荒木、山田
- 18日 情報組織部会
井戸田、酒井、小宮山、山西
- 18日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 20日 日臨技主管公益目的事業実務委員
打ち合わせ会議
今井
- 20日 北支部自由集会
栗本
- 23日 マタニティカーニバル2009
最終打合せ(テレビ大阪)
田畑、栗本
- 24日 南支部自由集会
田畑、出野、栗本、小宮山
- 27日 常務理事会
今井、暹天、竹浦、吉本、高田、荒木
- 28日 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース
全体説明会
- 28日 今井
標準化プレサーベイ試料調整
山西

II 経過報告

1. 日臨技

- 日臨技認定制度認定更新指定研修会の登録依頼があった。
各都道府県が行っている研修会で当制度の条件に合致したものは、認定指定研修会とする。
- 世界糖尿病デーに関する日臨技主催の公益目的事

業への協力要請があった。

- 平成22・23年度会長および副会長立候補の選挙公示が届いた。
兵庫県の富永氏が、近臨技推薦で副会長に立候補する。

2. 近臨技

- 6月10日に会長会議が開催された(先月に報告)。
- 京臨技から第49回近畿医学検査学会の案内文書とポスターが届いた。演題募集期間は6月15日～7月31日である。
- 第49回近畿医学検査学会の一般演題座長候補者推薦依頼が届いた。これについては、学術部に一任することとした。
- 2009年仏語圏第4回アフリカ臨床検査コース研修員の選考会が6月17日にあり、6月28日に全体説明会が行われた。

3. 公益法人移行委員会

- 6月24日に委員会を開催した。
- 内閣モデル公益法人定款を参考に大臨技定款変更案を検討し、委員会案案をまとめた。
- 今後の予定としては、大臨技定款変更案の修正点について大阪府に相談の上、委員会で再検討する。

4. 事務局

(総務部)

6月17日に部会を開催した。

- 「年輪V」の作成について検討した。掲載データの9割以上が完成し、次回の総務部会で校正する予定である。
- 「大臨技会報」の作成について検討した。大臨技各部に事業報告資料の提供をお願いし、9月に完成・送付予定である。
- 「大臨技セキュリティポリシー」について報告した。
- 賛助会員への対応について検討した。まだ申込書類が届いていない企業への対応を決めた。
- 大臨技ニュース6月号を発行した。
- 大臨技ホームページを更新した。

(会計部)

6月17日に部会を開催した。

- 5月度収支決算書を作成した。
- 日臨技へ5月分会費の送金を行った。
(渉外部)
- 6月11日に部会を開催した。
- 第31回献血推進活動について、広報および運営について打ち合わせを行なった。
- 日臨技公益委託事業への協力として、第1回乳癌健診推進活動を行うことの説明を行った。
- 府民健康フォーラムについて打ち合わせを行なった。
- 手話講演会について打ち合わせを行なった。12月5日開催予定とする。
- 合同フォーラムの第1回会議を7月7日に開催した。開催概要は、日時:平成22年1月16日、場所:医師協同組合本館の会議室、タイトル:9月1日に決める。広報:10～11月に行う予定である。

5. 事業局

(情報組織部)

6月18日に部会を開催した。

- 職域部会を6月5日に開催した。会員25名、関係者11名の参加があった。
「病院機能評価について」のテーマで村上氏(当会監事)を講師に招き、ディスカッションを行った。
- 検査運営研修会を7月に予定していたが、講師の部

- 合で延期となり9月もしくは10月に開催できるよう次回の部会で決める。
(地区事業部)
6月18日に部会を開催した。
- 7月4・5日開催のマタニティカーニバル協力事業の最終の打ち合わせをした。
当日、大臨技の体験コーナーは、途切れることなく多くの人が参加され、府民に大臨技を大きくアピールできた。
- 自由集会についての報告があった。北支部162名、南支部104名の参加があった。
- 携帯端末紛失の報告があった。
(総務部で調査する)
- 就職情報についての提案があった。
(学術部)
6月15日に部会を開催した。
- 講師源泉税の報告を徹底するように再度要請した。
- 第4回大臨技教育セミナーに関する報告を行った。
担当講師から提出されたテキスト原稿を印刷中である
- 9月に予定の学術部講演会の内容について検討した。テーマは統計学で、9月19日関西医科大学附属滝井病院で行う予定である。

Ⅲ 他、報告

1. 府民健康フォーラムについて(清水理事)
テーマをがんの自己検診とする。総合司会は泉浩実氏に依頼する。
2. 日臨技公益目的事業について
 - 乳癌検診推進活動の啓発グッズおよびポスターを準備する。
 - 献血推進活動と同時に行う予定で、申請は個々に行う。
 - 乳癌健診啓発グッズの配布での街頭呼びかけを行う。
 - テントを設置し、パネル・チラシ等による啓発を予定している。

Ⅳ 議題

1. ベースメーカー管理について(高田理事)
 - 「第1回臨床検査技師の立場から見たベースメーカー立会い業務」(当初、7月17日開催予定)の共催申請について継続審議の結果、会員への広報の関係上、9月の第1または第2金曜日に開催予定とした。共催依頼については、当社として「後援」することとし、承認を得た。
日臨技生涯教育履修点数は、自己申告での「専門-10点」とする。
今後は、大臨技主催も考慮する。
2. 大阪府医師会の会員カードについて(運天副会長)
 - 医師協同組合から医療従事者福利厚生の一環として大臨技会員に対し、入会および会員カード利用の依頼があり検討した。会員カード利用のメリット(入会金、年会費永年無料)を考慮し、会員への紹介には特に問題がないとの意見で承認された。
カード作成の準備が整った後、大臨技ニュース等で広報することとした。
3. その他
 - 竹浦副会長より、新しい大臨技ロゴマークの選択につき、引き続き来選までメールにて意見を問うことにした。
 - 就職情報の提供について
会員より、現行の日臨技無料職業紹介事業(厚労大臣認定)が実務的に利用しづらいため、大臨技での就職情報提供等を検討してほしいとの意見があった。

このことについて、他の都道府県技師会での対応等を調査したところ、情報提供のみ行うことについては、法的に問題はないという意見であった。日臨技無料職業紹介事業の現状は、地域的な求人情報の把握が困難であり、利用形態や対応に制約があるなどの問題がある。

このため、今後、当件について大臨技としての対応を検討して行くこととした。

- 第49回近畿学会の演題締切日について
第49回近畿学会の演題締切日(7月31日)の会員への広報を早急に行う必要があるため、ポスター(裏に学会案内)送付に先立ち、大臨技ホームページに掲載することとした。